

〈基本目標Ⅳ 男女共同参画社会実現のための意識づくり〉

資料5

施策の基本的方向 1. 職場や地域における意識づくりの推進  
 施策の内容(1) 職場における意識啓発

事業番号	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
46	男女共同参画に関する講座の開催(再掲)	講座の参加人数(人)	20	20	20	20	20	事業所向けの男女共同参画に関する講座開催は未実施。今後、講座の開催方法について検討する必要がある。	C	男女共同参画への意識啓発が図れていないため。	町民課
	事業所向けの男女共同参画に関する講座を開催し、職場における男女共同参画への意識啓発を図ります。		0	/	/	/	/		3		

施策の内容(2) 地域における意識啓発

事業番号	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
47	男女共同参画に関する講座の開催(再掲)	講座の参加人数(人)	20	20	20	20	20	○2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)広域連携事業 「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて～忙しいパパとママのための子育てハッピーアドバイス～」 平成23年10月15日(土)午後2時～参加者 175名(うち寒川 6名) ○平成23年度男女共同参画推進市町村連携事業「今、あなたに求められる防災対策」 平成24年1月21日(土)午後1時30～3時30分 寒川総合体育館 多目的室 参加者 67名(男性28人、女性39人) ○その他広域連携事業 5件情報提供 今後も、女性が参加しやすい環境作り(託児を設けるなど)に配慮し、事業を計画していく必要がある。	A	男女共同参画に関する意識啓発が図れた。	町民課
	生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。		73	/	/	/	/		1		

事業番号	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績	実績				
48	生涯学習講座などの開催	講座開催回数(回)	4	4	4	4	4	<p>OPTA指導者研修会 3部会 5/22、5/24、5/29(参加:男性3、女性81)</p> <p>○人権教育講演会 2/14(参加:男性3、女性19)</p> <p>○ステップ・アップ自主企画講座 8講座 (参加:男性8、女性101)</p> <p>○生涯学習指導者研修会 3/23(参加:男性1、女性3)</p> <p>○文教大学出講講座 3講座 2/18、3/10、3/17(参加:男性11、女性18)</p> <p>○不感式～around40ミーティング 3/20(参加:男性4、女性31)</p> <p>○還暦式 5/28(参加:男性12、女性7)</p> <p>平日午前を実施した事業が多く、各講座の男女参加率を見ると女性が多く、男性が少ない結果となった。 男女ともに参加できるような時間設定、内容を打ち出していきたい。</p>	A	平成23年度事業計画に沿い、その目標を達成した。	生涯学習課
	18						1				

施策の基本的方向 2. 家庭や学校等における意識づくりの推進  
 施策の内容(1) 家庭における意識啓発

事業番号	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
49			父親・母親教室の開催(再掲)	参加者の満足度(%)	100	100	100	100	100	開催回数20回(4コース×5日)参加者実数妊婦88人(延べ340人)夫63人(延べ79人) 今後は働く妊婦が参加しやすい体制づくりが必要。	A
	初妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。	95						1			
50	母子訪問指導事業(再掲)	母子訪問合計件数(件)	900	900	900	900	900	妊婦7人産婦285人新生児32人乳児259人幼児167人その他203人 訪問は産後2か月以内の時期にしたいが、超えることがある。 また、乳児家庭全戸訪問事業(こんには赤ちゃん事業)が平成23年10月から開始され、生後4ヶ月までの新生児乳児への訪問を重点的に行っている。今後も、子どもと養育者の心と体の健康づくりを推進していく。	A	目標を達成した。	健康課
	乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。		954						1		
51	母子健康相談事業(7か月児相談2歳児歯科相談)(再掲)	来所率(%)	65	70	75	80	85	開催回数12回7か月児相談328人2歳児歯科相談216人 事業の周知を徹底すると共に、今後も、乳幼児の成長発達を確認し、保護者の育児不安の解消を図れるよう努める。	A	目標を達成した。	健康課
	来所による相談事業の開催を通じて、乳幼児を育てる家庭の、子どもと養育者の心とからだの健康づくりを支援し、男性の育児参加への意識啓発を行います。		70						1		

事業番号	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績	実績				
52	男女共同参画に関する講座の開催（再掲）	講座の参加人数（人）	20	20	20	20	20	<p>○2市1町（藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町）広域連携事業 「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて～忙しいパパとママのための子育てハッピーアドバイス～」 平成23年10月15日（土）午後2時～参加者 175名（うち寒川 6名） ○平成23年度男女共同参画推進市町村連携事業「今、あなたに求められる防災対策」 平成24年1月21日（土）午後1時30～3時30分 寒川総合体育館 多目的室 参加者 67名（男性28人、女性39人） ○その他広域連携事業 5件情報提供 今後も、女性が参加しやすい環境作り（託児を設けるなど）に配慮し、事業を計画していく必要がある。</p>	A	男女共同参画に関する意識啓発を図れた。	町民課
	生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、家庭における男女共同参画への意識啓発を図ります。		73						1		
53	生涯学習講座などの開催（再掲）	講座開催回数	4	4	4	4	4	<p>○PTA指導者研修会 3部会 5/22、5/24、5/29（参加：男性3、女性81） ○人権教育講演会 2/14（参加：男性3、女性19） ○ステップ・アップ自主企画講座 8講座 （参加：男性8、女性101） ○生涯学習指導者研修会 3/23（参加：男性1、女性3） ○文教大学出講講座 3講座 2/18、3/10、3/17（参加：男性11、女性18） ○不惑式～around40ミーティング 3/20（参加：男性4、女性31） ○還暦式 5/28（参加：男性12、女性7） 平日午前を実施した事業が多く、各講座の男女参加率を見ると女性が多く、男性が少ない結果となった。 男女ともに参加できるような時間設定、内容を打ち出していきたい。</p>	A	平成23年度事業計画に沿い、その目標を達成した。	生涯学習課
	P T A 指導者研修会、家庭教育講演会、人権教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など生涯学習の機会を提供します。		18						1		
54	公民館講座の開催	講座の参加者数（人）	7,000	7,050	7,100	7,150	7,200	<p>家庭教育学級11/20,23,27 12/4 計36人 メンズクッキング12/4 12人など6,982人参加 家庭教育学級の男性の参加者は少なかったが、24年度も育児を知る機会を提供する。</p>	B	ほぼ達成した。	公民館
	公民館講座を通じて、男女共同参画の意識づくりを図ります。		6,982						2		

施策の内容（２）学校等における意識啓発

事業番号	事業名		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	現状と課題	評価	評価の理由	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績	実績				
55	教職員の資質向上事業		240	240	240	240	240	年4回の教職員研修会を人権の大切さ、男女平等推進の重要性を基盤にとらえつつ、開催した。今後とも、こうした考え方を十分にふまえて研修を推進していきたい。	A	学校における教育活動は、人権尊重や男女平等にかかわる意識啓発を常に念頭に置きつつ展開する必要がある。	学校教育課
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数（人）	246	/	/	/	/		2		
56	中学生人権作文コンテストの実施		200	210	220	230	240	平成23年度応募者数41人 ○「横浜地方務局長・神奈川県人権擁護委員連合会長表彰」銀賞1名 ○「横浜地方務局湘南支局長・湘南人権擁護委員協議会長表彰」奨励賞4名 ・目標には達したが、今後も目標の達成に向け取り組む必要がある。	A	目標を達成することができた。	町民課
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数（人）	203	/	/	/	/		2		
57	読み聞かせの実施		720	720	720	720	720	北部お話図書館毎月1回、南部おはなし広場毎月2回実施、幼児、小学生に分けて実施しているが、年々少子化により各館の参加者は減っている。寒川総合図書館でも参加者が増加傾向から横ばい傾向になっている。	B	目標は達成した	公民館 寒川総合図書館
	公民館や図書館を活用した読み聞かせを通じて、思いやりや仲良くする心などの人権・男女平等意識を幼児期から育みます。	読み聞かせ、おはなし会への参加者数（人）	1,490	/	/	/	/		2		
推進協議会記入欄			【基本目標Ⅳ 男女共同参画社会実現のための意識づくり】								